

まちのうごき	
面積	7.67km <sup>2</sup>
(12月1日現在)	(11月中)
世帯数 17,451世帯	生まれた人 49人
人口 52,927人	亡くなった人 21人
男 25,993人	転入した人 197人
女 26,934人	転出した人 195人

迎  
春

二十一世紀へのまちづくり



心のふれあうまち 向日市



市民の皆さん、あけましておめでとうございます。

一九九一年の輝かしい新春を、ご家族おそろいで健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年は、私にとりまして、市長四期目の任期しめくくりの年にあたりますことから、市民の信託に応えられるよう、公約した政策の実現に向け、全力を傾注してまいりました。

とりわけ、急速に進む高齢化社会に対応し、健康を守り、生きがいを高めるためのきめ細かな福祉・保健施策の充実に努め、ねたきり老人対策に力を注ぐとともに、「高齢者福祉基本計画」の策定や総合福祉会館建設への取り組みをすすめました。

また、街路、道路、水路の整備や上・下水道事業のより一層の促進、物集女コミュニティセンターや防災センターの建設、教育施設の整備やパソコン教室の設置など教育施策の推進に努めました。さらに国際交流の分野では、中国の杭州市長を迎えて、向日市・杭州市友好都市提携5周年記念式典の開催や記念植樹、米国サラトガ市との友好交流を一層深め、また、平和行動計画に基づく平和への取り組みを図ることができました。

これもひとえに、市民の皆様方の温かいご理解とご協力の賜であると、深く感謝を申し上げます。

さて今日、私達をとりまく社会は、高齢化をはじめ国際化・情報化、技術革新の進展へと大きく変動し、さらに、国内の諸情勢とあいまって、生活の様々な面で大きな影響を与えております。そうした中で、住民の行政ニーズも複雑多岐にわたり、時代の流れに即応したまちづくりへの適確な対応が求められています。

私は、ふるさと向日市を来たるべき21世紀に向け、市民一人ひとりが「ふるさと」と呼べる「個性的で心のふれあう魅力あるまち」を創造するため、「福祉と文化の香り高い定住都市」を目指して、本市総合計画に基づき、まちづくりをすすめなければならぬと考えます。とくに、快適な住環境をつくり出すためには、駅前整備や阪急連続立体交差化への計画的な取り組み、上水の安定供給や公共下水道事業の積極的推進、治水対策としての雨水排除計画の促進、西ノ岡丘陵の緑の保全と整備、地元産業の活性化対策など都市環境の整備を期すべきであります。

また、心豊かな文化的なまちとするために、教育環境や文化施設の充実、とくに市民ホールや文化施設の建設、ふるさと創生事業に格段の努力を必要とします。

さらに、健康で生きがいのあるふるさとづくりのために、福祉と健康を守る諸施策を推進しなければなりません。「21世紀へ向け、住環境のすばらしい心のふれあうふるさとづくり」に市民の皆さん方のご支援をお願い申し上げますとともに、本年も皆さん方にとって、幸多い年となりますことを祈念して、年頭のごあいさついたします。

向日市長

民秋辰夫